

血液検査結果表

『血液検査の表の見方が分からない』と言う方が多いようなので、今回は項目別の検査内容を簡単ですが表にしました。ご自分の血液検査の結果と照らし合わせて確認してみてください。

項	項目名	検査内容	基準値
脂質	総コレステロール	細胞膜や血管壁を構成したり、ホルモンを合成する材料になります。 基準値より高い…高脂血症・糖尿病・動脈硬化などの疑いがあります。 基準値より低い…肝硬変・甲状腺機能亢進症などの疑いがあります。	150~219
	HDLコレステロール	全身の余分なコレステロールを肝臓へと運ぶ役割があります。 基準値より低い…動脈硬化・糖尿病の疑いがあります。	41~96
	LDLコレステロール	肝臓で作られたコレステロールを全身へと運ぶ役割があります。 基準値より高い…動脈硬化・狭心症・心筋梗塞・脳梗塞などの疑いがあります。	70~139
	中性脂肪	体内のエネルギー代謝に使用される脂質の一種です。 基準値より高い…動脈硬化・糖尿病・甲状腺機能低下症などの疑いがあります。 基準値より低い…肝臓病・アジリン病などの疑いがあります。	35~148
腎臓	尿素窒素	尿中に含まれる窒素の濃度を測定し、主に腎機能に異常がないか調べます。 基準値より高い…腎機能障害・消化管出血などの疑いがあります。 基準値より低い…肝機能障害などの疑いがあります。	8~22
	クレアチニン	タンパク質が分解されたときにできる物質です。腎機能に異常がないか調べる時にクレアチニンの値を測定します。 基準値より高い…腎機能障害・肝硬変などの疑いがあります。 基準値より低い…筋ジストロフィー症などの疑いがあります。	♂0.6~1.2 ♀0.4~0.9
	尿酸	プリン体といわれる核酸が分解されてできる物質です。主に通風の疑いがある場合に検査します。 基準値より高い…通風・腎機能障害などの疑いがあります。	2.3~7.0
電解質	Na Cl K	どれも電解質成分のひとつで、体液水分量の平衡状態を調べたり、代謝機能の異常を調べるときに検査します。 基準値より高い…脱水症状・尿崩症・肺気腫などの疑いがあります。 基準値より低い…腎不全・心不全・肝硬変・食欲不振症などの疑いがあります。	Na135~147 Cl96~108 K3.5~5.2
糖	血糖	血液中の糖分のことで、糖尿病を調べる上で重要な検査項目です。 基準値より高い…糖尿病・膵炎・肝硬変・慢性肝炎などの疑いがあります。 基準値より低い…糖原病・インスリノーマなどの疑いがあります。	60~110
	HbA1c	体内でヘモグロビンとブドウ糖が結合するとできる物質です。糖尿病を調べる上で重要な検査項目です。 基準値より高い…糖尿病などの疑いがあります。	4.3~5.8

検査値はあくまで診察の目安となるものです。

疾患の確定は様々な検査等でなされます。数値の高低で、上記の疾患が確定するものではありません。

気になる項目がある場合は、気軽に医師や薬剤師にご相談ください。